

「予算」とは、市が1年間でこれから何をするのかをお金の面から示すものです。今後直面する人口減少、少子高齢化などに備えつつ、これからも三田市が住み続けたいまちであるために、31年度予算ではどのように対応しているのかについてお知らせします。

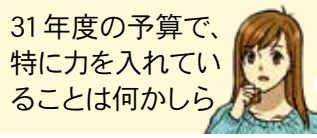
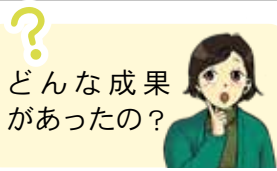
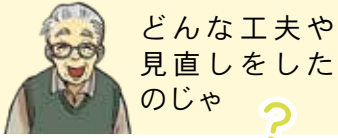


一般・特別会計

31年度予算のポイント

これまでの「お金の使い道の工夫と見直し」の成果を活かして、

- ✓ 未来に向けた積極的な取り組みを本格的にスタート！
- ✓ 将来への備えにも対応！



解説します！



これまでの取り組みと成果

■ 取り組み

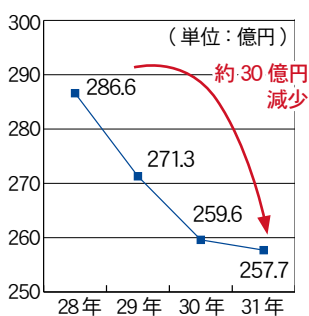
「人件費の抑制」や「事業の見直し」により、「収入に見合った支出」となるよう努めました

28年度に国から交付されるお金（普通交付税）などが大きく減りました。代わりに貯金（基金）の取り崩しが大幅に増え、貯金残高も大きく減ってしまいました。そのため、できるだけ貯金に頼らず「収入に見合った支出」とするよう、「人件費の抑制」や「事業の見直し」など行財政構造改革に取り組みました。

■ 成果

[1] 支出を抑えました

国から交付されるお金が大きく減る前と比較して、当初予算の一般財源（使い道が特定されていないお金）を約30億円も少なくすることができました。



[2] 貯金の取り崩しを少なくすることができました

貯金に頼らない財政運営を行うことで、貯金残高の減少スピードを緩やかにすることができました。



成果を活かして

■ 未来に向けて積極的に取り組みます

これまでの取り組みと成果により、将来のために必要なことに一層力をいれることができるようになりました。特に次のことに取り組みます。

[力をいれることその①] 子育て・教育

未来の三田市を担う子どもたちの健やかな成長のため、子育てや教育の充実を図ります。

[力をいれることその②] 産業

起業家育成や市内企業への就労支援など、産業を戦略的に振興することにより、若者の定着等を図ります。

■ 将来の心配ごとにも対応します

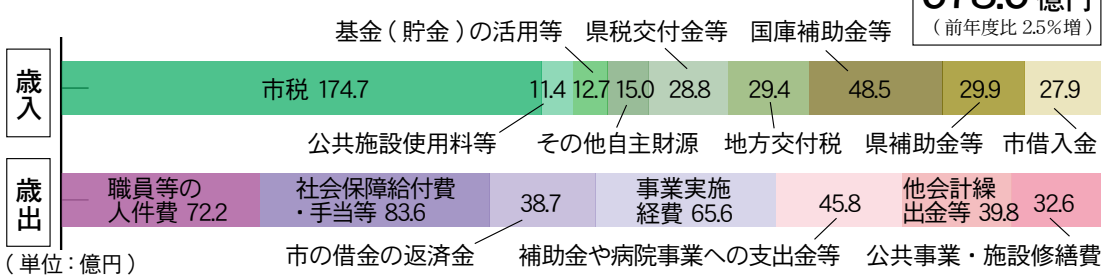
今後は、人口減少に伴う市税収入の減少、少子高齢化などによる社会保障経費や、老朽化による公共施設の改修・更新経費の増加が見込まれます。これまで、予算としては十分に対応できていませんでしたが、今回はそのための準備もすることとしています。

[将来への備え] 公共施設改修・更新のための積み立てなど

将来のことを予測しながら、今すべきことを考える必要があるのね



■ 一般会計の歳入と歳出（性質別）の内訳



■ 会計別予算

	31年度予算額
一般会計	378億3400万円
特別会計	198億7180万円
企業会計	204億6406万円
合計	781億6986万円

市民病院事業

市民病院事業は、収益的収支では1億4150万円の赤字、資本的収支では、890万円の黒字予算（一般会計から5億円の借入金含む）となっています。

	収益的収支	資本的収支
収入	92億124万円	16億5439万円
支出	93億4274万円	16億4549万円
合計	△1億4150万円	890万円

国の医療制度改革等により、今後さらに厳しい医療情勢が想定されますが、引き続き「断らない救急」と「病床稼働率の向上」等を重点項目に掲げ、救急搬送件数の増加や地域の医療機関との連携強化等に努めることにより、今後も安定した健全経営を図り、質の高い安全で安心な医療を提供していきます。

【用語の説明】  
 収益的収支：水道料金や下水道使用料、医療行為による収入等と人件費や施設の維持管理費等の営業活動の収支  
 資本的収支：水道や下水道、病院施設の建設や機器の更新を中心とした収支。資本的収支に不足がある場合は、内部留保資金等で補てんし、適切に対応します

三田市が直接経営する公営企業会計3事業の31年度予算をお知らせします

企業会計



共に創る 未来へのまちづくり予算

成熟のまち―「人々が支え合い、共に心豊かに生きる 共生のまち」を「チーム三田」で実現するため、31年度の予算では、「共に創る未来へのまちづくり予算」と位置付け、3つの重点課題①地域の創生②まちの再生③人と人との共生に取り組みます。あわせて、30年度に引き続き「収入に見合った支出」となるよう努めるなど、今後生じる課題にも適切に対応していきます。  
 こうすることで、未来への責任を果たしつつ、その道筋を示すまちづくりを着実に進めていきます。  
 問い合わせ 財政課 (559)5018 FAX 563-1366